

【計画】3-3 気候変動による三方五湖の淡水生態系等と与える影響調査

【分野：水域生態系、対象地域：福井県】

地域適応コンソーシアム中部地域事業

■ 目的

- ・気候変動に伴う気温水温の上昇、海水面の上昇等により、将来的に三方五湖の水質等の環境が変化する可能性が懸念されている。湖の水質や水温等の変化は、ヒシ※¹等の水生植物の生育状況やシジミ等の水産業に影響を及ぼす可能性がある。また、ヒシの繁茂状況の変化は、生息生物の多様性に変化を与える可能性が示唆されている。
- ・本調査では、将来的な気候変動の影響予測を行い、モニタリング方法や管理方法等の適応策を検討する。

※1：ヒシ科の一年草。池沼に生育し、葉が水面に浮く浮葉植物。

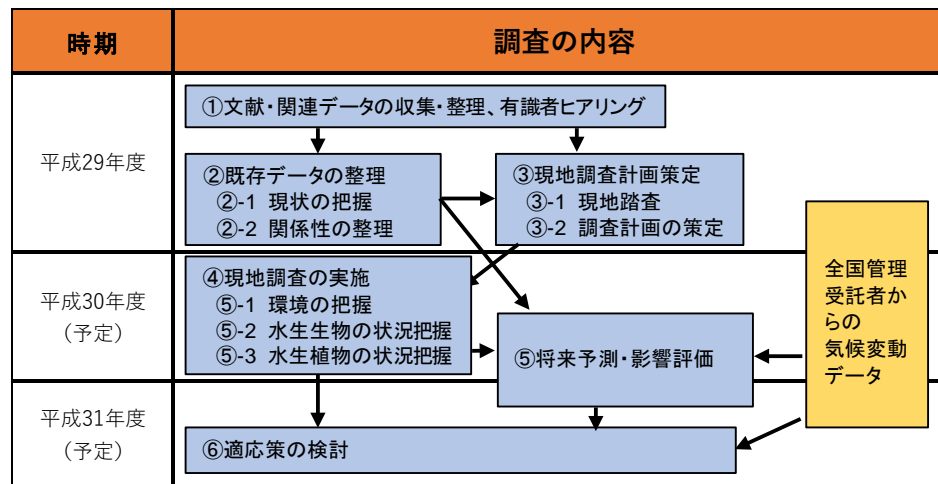


図. 上2点：三方湖のヒシ
(左：遠景、右：拡大、
日本ミクニヤ(株)撮影)



図. 右：ヤマトシジミ
(日本ミクニヤ(株)撮影)

■ 調査計画



■ 実施体制

